

## 物部湖畔コース

高知 No.8 JOA 公認 No.505 8km 10ポスト

軒並み廃止扱いとなってしまった高知県のパーマネントコースの中で、今も立派に整備されている数少ないコースの1つがこの物部湖畔コース。高知市からも近い、香北町「県立香北青少年の家」がスタート地点。JR土讃本線「土佐山田」駅から、大板行きバスで「吉野青少年の家前」で下車すると、目の前に入口があります。マップとマスターは青少年の家で入手して下さい。昭和53年に複製承認を得た、古典マップです。

物部川沿いの平坦な土地を巡る初級コースで、研修生の野外活動向けの設定になっています。所々、マップにルートの記載がない区間がありますが、ここは推理力の働かせどころ。スタート地点から第1ポストの「宝珠寺」へは道案内があり、地図を見なくても導いてくれます。本堂への道を上り詰めると、林の中にあるポストが迎えてくれます。思いの外、立派なポストに嬉しくなります。

第2ポストへも国道に出ることなく、地図にない、山裾の畦道を辿ることが出来ます。「北久保神社」という小さな神社の境内に赤々とポストは立っています。

第3ポストへは吉野ダムの堰を渡ります。地図に従うと、一旦、国道を西に向かわないとアクセスできないのですが、実際は第2ポストから国道に出た正面に、ダムへ下る道があります。対岸に渡ると間もなく古い階段にある第3ポストに到着。

そこから程近い、大きな杉の木の下にある第4ポストをチェックした後、第5ポストは山に沿って舗装道路を北進。直前で分岐があり、どちらか迷うところですが、下の道を行くと、カーブの先にポストがあります。

第6ポストへは2つのルート選択が考えられますが、出戻りルートのほうが分かり易いでしょう。あとは、ポスト手前にある神社に惑わされないこと。ポストは更に奥の竹藪を目指します。

第7ポストへのルートも地図上には表示されていません。ただ、民家の間を抜ける道路を辿ると、嫌でも道端に堂々と立つポストは眼に飛び込んで来ます。

第8ポストへはほぼ唯一と言える、上り坂区間が待ち構えています。第7ポストから更に下り、道路を西に向かうと「高照寺」があります。その横から真っ直ぐ登って行く道を進むと、勢い良く水の流れる水路に到達します。同時にポストも発見。

第9ポストはただただ西に向かって、この水路沿いを歩いて行きます。所々草深いところもありますが、気にせず進むと下る道との交点にポストはあります。

第10ポストはこのコースの最難関。再び物部川の南側に戻るのですが、その際渡る橋がポイント。地図にある橋は現在使用されていない吊橋。実際に渡る橋は、後に建設された立派なもの。しかもこの橋からはポストの存在は全く確認できません。と、いうのもポストは橋の真下にあり、既に廃道と化した旧道を見出す必要があるのです。ここまで比較的すんなりと回って来られる分、かえってこのくらい悩むポイントがあった方が面白味はアップする筈です。頑張ってみて下さい。これが見付かれれば、ゴールはもう直ぐです。

高知県まで足を伸ばすのも大変ですが、これだけ整備が行き届いたコースにはなかなかお目にかかれないものです。この日、近い距離にある「龍河洞」コースも歩いてきました。このコースは既に廃止申請が出されていますが、第2,7ポスト以外は健在でした。マップ、案内板ともに残されていたのも思わぬ成果となりました。

(2000年6月4日 踏破)

## 三二情報

鴨島 (徳島 No.2)

現在は整備不良で踏破不能です。マップも鴨島町コミュニティセンターには既にありません。開設当初の と後に更新された の計6ポストが残るだけで、いずれも朽ち果てています。但し、教育委員会の話では、この秋にリニューアルの計画があるそうです。

綾南 (香川 No.5)

休止中。 は既に無く、 も三角頭が無くなっていました。マップは以前同様、岡田文具店(現在文具店は閉店し、個人宅)に残っています。

三木ホースランドパーク (兵庫 No.25)

本年5月28日に開設記念大会を開催し、公認 No.776 としてオープンされました。全20ポストのフリーポイントOLコースです。既設の「三木山」コースと隣接しており、3つのポストは三木山コースのものを使用しています。スタート地点は三木ホースランドパーク内「エオの森研修センター」で、ポスト位置記入済みのマップが1枚105円で購入できます。通行可能度入りのO-MAPで、林を直進するルート選定も可能です。初心者からベテランまで、様々な利用方法が考えられるコースです。アクセスは山陽道「三木小野」ICより南へ車で5分。兵庫県OL委員会の話では、近い将来「三木山」コースは廃止し、この「三木ホースランドパーク」コースに1本化する予定とのこと。因みに県Noは25の筈ですが、マップには21と記載されています。

川原 (宮崎 No.7)

廃止。一昨年、利用者の減少から全ポスト撤去したとのこと。(木城町教育委員会談)